

## 第2 事業の概要

### 1 法人運営

#### (1) 学校法人盛岡大学中期経営計画（平成26年度～平成29年度）」の総括について

- ア 平成26年度からの中期経営計画では、少子化・グローバル化等の進展による社会環境の新たな段階に備え、重点項目6項目を掲げ地域社会において存在感のある学校法人を実現するための諸改革に取り組んできた。
- イ 中期経営計画の最終年にあたる平成29年度において、その実施状況・達成状況の検証を行い、問題点及び課題を見出すなど総括を行った。
- ウ 次期中期経営計画に反映させるため、理事会及び評議員会並びに本法人の教職員を対象とした研修会において目標の達成状況について報告した。

#### (2) 学校法人盛岡大学第3次中期経営計画（平成30年度～平成33年度）」の策定について

2018年以降の18歳人口の減少を見据え、地域に密着した存在感のある学校法人として永続的な維持、発展を目指すため「学校法人盛岡大学第3次中期経営計画（平成30年度～平成33年度）」を策定し、中期的経営の方向性を定めた。

#### (3) 平成29年度学生・生徒・園児数について

- ア 法人全体での学生・生徒・園児の総数は2,731人であり、収容定員2500人を231人上回った。ただし、学部別で見ると盛岡大学栄養科学部15人減、盛岡大学短期大学部23人減、盛岡大学附属松園幼稚園14人減と収容定員を下回った。
- イ 盛岡大学附属高等学校においては、他校の入学者抑制等の影響から今年度の入学者が入学定員150人を大きく上回り収容定員充足率が123.1%となった。

#### (4) 財政健全化への取り組みについて

「学校法人盛岡大学中期経営計画（平成26年度～平成29年度）」の重点項目である、「財務体質を私大平均に近づけ経営基盤を強化する。」について、引き続き財政の健全化へ向けて取り組んだ。

(財務状況の詳細については、P26「第3財務の概要」参照)

#### (5) 既存施設の改修・整備等について

- ア 砂込キャンパスにおいては、A205大教室の机椅子の更新、臨床栄養実習室の機器備品整備のほか、未整備だった研究室、講師研究室及び臨床栄養実習室の冷暖房設備の設置を行った。また、電話設備更新工事を行った。
- イ 全施設において、補修・補強工事を行い教育環境の維持に努めた。

## (6) F D 研修・S D 研修の実施について

法人の基本理念や情報、課題等の共有を図るため教職員研修会（年2回）、事務職員新人研修及び階層別研修会を行い、教職員の更なる意識改革と職能成長を図った。

## (7) 教員組織・事務組織の再編について

入学者の減少を見据え、教育・事務効率の向上を図るため教員組織・事務組織の再編を検討し段階的に実施する計画は、「学校法人盛岡大学第3次中期経営計画（平成30年度～平成33年度）」において業務内容の精査を行い、見直しを図ることとした。

## (8) 東日本大震災に関連する措置等について

ア 東日本大震災の被災を受けた学生・生徒・園児に対し、平成29年度は30名に授業料等学納金の減免措置を実施した。

イ 被災減免対象者は年々減少しているが、いまだに相当数の対象者がいることから、平成30年度においても減免措置を継続することを理事会で決定した。

## 2 設置する各学校の運営

### (1) 盛岡大学

#### ア 入学者の定員確保について

平成29年度の入学者数は文学部370人、栄養科学部は67人となった。文学部の学科・コース別の人数は英語文化学科73人、日本文学科76人、社会文化学科70人（以上3学科は定員60人）、児童教育学科 児童教育コース111人（定員100人）、児童教育学科 保育・幼児教育コース40人（定員40人）で、各学科とも定員を確保することができた。栄養科学部については入学定員80人を下回った。

#### イ 入学者選抜試験の実施について

平成29年度に実施した平成30年度入試において、文学部で外国人特別選抜入試が行われ1名の入学者があった。また、栄養科学部においては3年次編入学試験が新たに実施され4名の入学者があった。

#### ウ 対外的広報活動の充実について

- ① 入試に関する広報活動は、オープンキャンパス、高校訪問及び各種説明会への参加を核とし、志願者の多い北東北地域を重点地域とした募集活動を行った。
- ② 今年度の入試広報活動展開において、オープンキャンパスの来場者数、学校見学者数や資料請求等のアクセス者数は、前年より減少した。業者主催入試説明会相談者数は増加した。
- ③ 高校生(受験生)にとってより身近な学生広報スタッフを活用し、大学見学の案内、母校訪問（休暇中に出身高校を訪問し、近況報告をするとともにパ

ンフレット等資料を配付) や、オープンキャンパスでの対応を引き続き行った。

## エ 文学部の改組・再編について

① 文学部の改組・再編検討委員会において、昨年度に実施した株式会社進研アドによる高校教員対象のマーケティング調査の結果を踏まえ、また、平成 27 年度及び 28 年度の入試状況も考慮し、改組再編検討委員会において主に次の事項について検討した。

- ・児童教育学科の改編について
- ・文学部の現状と今後の課題について

② 特に、小学校教員の採用実績に基づき、従前は他大学に対して競争優位であった児童教育学科において、近年は志願者数減少の傾向が見受けられることを受け、今後の文学部のあるべき姿及び新たなブランド構築を喫緊の検討課題として取り上げた。

## オ 教育改革を進めることについて

- ① 教員免許法及び同施行規則改正に伴う教職課程の見直しを行った。
- ② 東京成徳大学学術交流に関する協定及びカモーンソン大学における短期英語研修プログラムの見直しを行なった。東京成徳大学との協定は平成 30 年 3 月 14 日をもって解除となった。
- ③ 学生による授業評価調査について結果をとりまとめ、「2016 年度授業評価報告書」を発行した。
- ④ アクティブ・ラーニングによる授業評価及び実績の可視化については、昨年度から開始したタブレットの利用頻度の統計を継続し状況把握を行なった。

## カ 特色ある教育活動の推進について

### ◆文学部

- ① 英語文化学科においては、新たな海外留学制度について学科内にワーキンググループを編成し、海外大学の視察、海外研修アンケートを実施するなどして検討を行った。また、英語運用科目において習熟度別編成を反映した名称へとカリキュラム変更し、更に学力に応じた編成とした。
- ② 日本文学科においては、基礎学力の強化に向け古典語文法と漢文について「日本語学演習（古典語）Ⅰ」と「漢文基礎演習」の授業で基礎力強化を図った。また、11 月には日本文学会 30 周年記念講演を行った。
- ③ 社会文化学科においては、「社会学（A・B）」・「文化人類学」「歴史学」「文化財演習」「博物館実習」等において、フィールド・ワーク及び学外授業を実施した。
- ④ 児童教育学科においては、特色あるカリキュラム（2 コース・専門分野ユニット・特色ある必修科目）を着実に推進し、完成年度を迎えた。GPA や学生支援アンケート（hyper-QU）等の分析によるカリキュラム評価や教職再課程への対応等を踏まえて、平成 31 年度からのカリキュラム一部改訂を立案した。

また、児童教育学会において年 2 回 4 名の教員の授業実践報告、実践事例検討会及び I C T 活用研修会を実施し、教員の授業実践力の向上に取り組んだ。

#### ◆栄養科学部

- ① 管理栄養士国家試験に向け国家試験対策講座、国家試験模擬試験、国家試験合格者の体験講話などを実施した。
- ② 第 32 回管理栄養士国家試験の結果は、合格率 89.4%で、受験生 66 名中 59 名が合格した。(全国平均 95.8%)
- ③ 入学前教育の実施に加えて、一般推薦入試合格者の基礎学力(理科)の向上を図る目的として、外部業者による「入学前準備教育」「入学後学力診断テスト」を実施した。

#### キ 学生支援体制の強化について

- ① 大学教育にスムーズに入ることができるように、AO入試合格者及び推薦入試合格者を対象に、各学科において入学前教育を実施した。
- ② G P A 制度及び盛岡大学 Web ポータルシステムの活用領域を拡大し、多様な取組みの充実を図った。
- ③ 経済困窮者を対象とする新たな奨学金制度について、平成 30 年度内の実施を目指し協議を行い、新制度案を策定した。

#### ク キャリア教育及び就職支援活動の強化推進について

- ① 一般就職及び公務員  
就職センターにおいては、「キャリア教育及び就職支援活動を強化推進する」「卒業生の就職先満足度を高めると共に、全員就職を目指す」を目標に就職対策講座、公務員採用試験対策講座などの事業を実施した。
- ② 教員採用試験合格率を上げるための方策  
平成 30 年度採用の教員採用試験合格者延べ数は現役 32 名(前年 45 名)、既卒 89 名(前年 92 名)、計 121 名(前年 137 名)であった。  
教員採用試験対策として、「学内教員による教員採用試験特別講座」「外部講師による教員採用試験受験対策講座」「教員採用試験対策模擬試験」「教員養成サポートセンターガイダンス及びセミナー・勉強会・個別相談」を実施し、対策の強化に努めた。

#### ケ 研究活動の推進について

- ① 学内の学術研究助成において、文学部は 7 件が交付決定され 3,227 千円が交付された。栄養科学部は 4 件が交付決定され、2,000 千円が交付された。
- ② 科学研究費助成事業は、研究分担者としての採択件数を含み 7 件の研究費を受け入れた。内訳は基盤研究 4 件、若手研究 1 件、挑戦的萌芽研究 1 件及び研究活動スタート支援 1 件である。
- ③ 『比較文化研究』について、平成 29 年度は「境界領域の諸相」という特集

テーマを掲げ、一般研究論文と併せて全5編の学術論文（社会文化学科2編・日本文学科1編・他大学／機関2編）から成る第28号を予定どおり編集・公刊した。

#### コ FD・SD活動を推進について

- ① 大学の管理運営、教育・研究支援等の業務に携わる事務職員の資質向上を図るため、SD研修会を2回実施した。
- ② いわて高等教育コンソーシアム主催のFD・SD研修会に本学から2名が参加した。

#### サ 施設・設備の整備について

- ① A校舎のA205大教室の机椅子の入れ替えを行った。
- ② 臨床栄養学実習室の機器備品の充実・整備を図った。
- ③ 臨床栄養学実習室に冷暖房設備を設置した。

#### シ 地域に根ざした大学としての地域貢献活動の推進について

- ① 認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状の特例科目を開講した。
- ② 岩手県及び近隣教育委員会と連携し、学校インターンシップ（教育ボランティア）を推進した。
- ③ 地域連携センターと教員養成サポートセンターとの連携を図り、盛岡大学「児童・生徒の学び舎プロジェクト」等の実施を通じて地域貢献を進めた。

### (2) 短期大学部

#### ア 入学者の定員確保について

平成29年度の入学者数は126人と、定員150人に対して24人を下回る大幅な減少となった。受験者数そのものの落ち込みや、盛岡市内の専門学校が保育士養成2年課程を新設したことなどの影響によるところが大きい。

#### イ 対外的広報活動について

保育士の労働環境について、マイナスイメージを払拭するため広報活動に力を入れた。受験者や高校の進路指導の教員には、理解を得られたと思うが、保護者に浸透させることができなかった点が課題となった。

#### ウ 特色ある教育活動について

後援会の協力を得て、こども発達支援講座、卒業発表会、もりもり子育て支援事業、美術ゼミ作品発表、ゼミ成果の集録刊行、附属幼稚園との特別支援教育合同研修会など実施した。

#### エ 学生の基礎学力の向上と学習意欲の向上について

- ① 学生の基礎学力を向上させるために、全学年で漢字テストを実施した。

- ② 学習意欲の向上を図るため、昨年設置されたB312教室の教育ソリューションシステムの活用した授業を展開した。
- ③ 今年度、保育士模試を実施し、本学の学生の基礎力がどの程度であるか、客観的な視点から検証を行った。

#### オ 保育者養成校として地域等への貢献について

- ① 岩手県、滝沢市、北上市において、子ども子育て会議に委員を派遣した。
- ② 滝沢市等の特別な支援を要する子ども達への巡回に専門分野の教員を派遣した。
- ③ 放課後児童クラブの支援員養成講座、教員免許状更新等への講師を派遣した。

#### カ 教育環境の整備のために外部資金獲得への取り組みについて

「平成29年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1）」及び「平成29年度私立大学等経営強化集中支援事業（タイプA）」に申請を行ったが不採択であった。

#### キ 研究環境について

- ① 教職課程の再課程認定申請を控え、教員の研究業績を積み上げるために研究環境の充実を図った。
- ② 盛岡大学短期大学部紀要第27号（通巻40号記念）を刊行した。投稿数は7本であった。

#### ク 教職再課程認定申請に関する準備について

幼稚園教諭二種免許状にかかる教職課程再課程認定申請に向けた準備を行った。事前相談の段階で文部科学省より指導を受けたが、申請書は受理された。

#### ケ 短期大学部の将来構想について

平成29年度入試において定員割れをおこしたことを受け、学科内に入試委員を中心とした「幼児教育科将来構想委員会（入試委員を中心としたワーキンググループ）」を設置し、入試改革と定員見直しの本格的な議論を進めた。

#### コ キャリア教育及び就職支援活動について

就職率は、ほぼ100%を達成した。キャリア教育の強化の結果、専門職への就職率が98.5%を超える結果となった。また、就職活動の強化の結果、正採用が70%となった。

### （3）大学・短期大学部共通

#### ア 認証評価の受審結果を受け、本学の生き残りをかけて更に大学改革・教学改革を推進することについて

- ① 栄養科学部の教員資格審査基準において、業績等に関する評価基準を定め、規程の一部改正を行った。

- ② 大学の履修科目の登録単位数の上限を、学則及び要領に規定した。  
文学部 48単位  
栄養科学部 46単位
- ③ 大学及び短期大学部において、学長が定めた5ヵ年（平成26年度から30年度）にわたる「中期目標」の達成のため、各部門の目標及びタスクを定め、さらにその工程計画を策定し改革を進めた。
- ④ 前年度の認証評価の受審結果内容及び、5ヵ年の計画期間の終盤であることを踏まえ、PDCAサイクルの考え方に基づく進捗状況の点検と、次期計画における課題の検討を各部門において行った。
- ⑤ 学長裁量経費予算における「教育の質向上に係る助成事業」を学内に公募し、平成29年度は文学部において1件が採択された。

#### イ 両大学の一層の連携について

- ① 教員免許状更新講習について、大学・短期大学部において選択領域9講習を開設した。
- ② 陸前高田市との協定に基づく事業として、大学及び短期大学部から講師を派遣し、「盛岡大学・盛岡大学短期大学部公開講座」を陸前高田市で開講した。
- ③ 教職課程の見直し及び再課程認定により全学的に教職課程を見渡したことを機に、教員養成校としての盛岡大学及び盛岡大学短期大学部のこれまでの実績を踏まえ、大学及び短期大学部に所属する教員の教職教育分野の発表の場として「盛岡大学・盛岡大学短期大学部教職研究」を発刊した。

#### ウ 学生の心身のケアに関するサポート体制の充実について

- ① 学生相談の充実のため、カウンセラーの増員及び勤務日の増加を検討し、平成30年度からは3名のカウンセラーで担当することとなった。このことにより、平成30年度からは月曜日から金曜日まで相談対応が可能となった。
- ② 特別な支援が必要とされる学生に対する支援については、卒業後の進路だけでなく、大学や修学への不応感の強い学生への進路変更に関する相談内容にも対応した。さらに、就労支援及び職業訓練施設への橋渡し等も行った。
- ③ 治療が必要と判断された学生に対しては、専門機関及び医療機関への受診を促し、保護者と一体となった支援を行った。
- ④ 短期大学部において「リソースルーム」を設置し、担任教員が心のケアに当たった。

#### エ 大学・短期大学部共通機関による地域貢献活動について

##### ◆地域連携センター

- ① 盛岡大学公開講座、子ども発達支援講座（盛岡大学短期大学部公開講座）を実施するとともに、地域活動への参加と提言、地域支援活動の推進などを行った。
- ② いわて高等教育コンソーシアムとの連携により、視察とワークショップ、平

泉文化フォーラム及びCOC、COC+事業への参加協力などを行った。

- ③ 地方自治体との相互包括協定により地域との協定事業を推進した。また今年度は、盛岡市との包括的連携に関する協定を新たに締結した。

#### オ 他大学との協定に基づく事業について

- ① カナダ・カモーンソン大学との協定に基づく事業

- ・英語研修

秋季海外英語研修は参加希望者が少なく実施が見送りとなった。

春季海外英語研修は4名の参加があり予定通り実施された。

- ・交換派遣留学

本学から2名派遣した。カモーンソン大学からの派遣留学生はなかった。

- ② 中国寧波大学との協定に基づく事業

- ・交換派遣留学

寧波大学から2名を受け入れた。本学からの派遣留学生はなかった。

平成29年6月26日から29日に開催された「寧波大学国際学生フェスティバル」に学生2名及び教員1名が参加した。

#### カ 図書館利用の活性化について

- ① 教員と図書館職員の幅広い連携を強化し、児童教育学科の「アカデミックスキル基礎講座」全15回の講義のうち、情報リテラシーの領域（図書館利用・情報収集）について、前期の4クラス・8コマ分の授業に関して図書館職員が教員を補助する形で授業運営に参画した。

- ② 洋雑誌のオンラインジャーナルについて、図書館ホームページのトップページに掲載している洋雑誌購入リストからもアクセス可能にしたことで利便性が向上した。また、学内限定利用となっていた外国雑誌論文記事検索データベースについて、教職員・在学生を対象に学外アクセスを可能にした。

- ③ 学生サポーター5名が参加した選書ツアーを実施し、各自が選んだ図書について学園祭時に手づくりのPOPによる展示紹介を企画実施するなど、図書館の活性化に繋がる活動を展開した。

- ④ 岩手県立大学のライブラリー・アテンダント（図書館支援を目的とする学生ボランティア）との交流会を行った。

#### キ 機関リポジトリの構築と円滑な運用について

「盛岡大学・盛岡大学短期大学部機関リポジトリ」の運用を開始した。平成29年度の利用数は、閲覧回数11,500件、ダウンロード回数55,815回と予想を上回る利用があった。

#### ク 同窓会との連携について

聖陵同窓会が主催し、盛岡大学・同短期大学部と盛岡大学短期大学部同窓会



アネモネ会共催による、「第5回ホームカミングデー2017」を開催した。今年度は、盛岡大学・盛岡大学短期大学部の同窓生が所属する企業・団体の企業紹介、学生の求人、物品販売、ワークショップなどが行われた。

#### ケ 施設・設備の整備について

砂込キャンパスの校舎内各所に防犯カメラ及び防犯センサーを設置した。

#### コ 危機管理態勢の拡充・整備について

- ① 火災及び地震避難訓練のマニュアルを作成し、火災避難訓練及び地震避難訓練を実施した。
- ② 平成29年度に危機管理体制について検討するワーキンググループを学内に設置し、危機管理に関する規程の策定に向け検討した。

#### サ 盛岡大学附属高等学校、盛岡大学附属幼稚園との連携について

##### ① 高校との連携

「教育事始め」(大学)、「子ども学」の講義(短大)、「出前授業」、「附属高校生のための授業公開」、附属高校における「盛大ガイダンス」を実施した。

##### ② 幼稚園との連携

大学では、幼稚園行事「おひさままつり」への参加や、幼児と教員の協力を得て研究保育と保育研究会を実施した。また、附属幼稚園での拠点園実習に42名が参加した。

短大部では、幼稚園行事「おともだちさくひんさい」への参加や、合同特別支援教育研修会、子育て支援(もりもり子育て)事業などを実施した。また、預り保育ボランティアとして参加し、実践力向上に努めた。

### (4) 盛岡大学附属高等学校

#### ア 入学者の定員確保について

- ① 平成29年度入試において、昨年度実施しなかった都南会場を再開し、二戸会場での試験を新たに実施した。
- ② 志願者は昨年度と比較して1.76倍増となり、また予想を上回る歩留まりにより最終的な入学者は235人で、定員の150人を大きく上回った。

#### イ 教育課程の改善について

特別進学コースの教育課程において、地理歴史を受験希望者の多い日本史に変更し、また受験に対応するために国語演習の単位を増やした。

#### ウ 高大連携について

年間2回、連携に関する協議会を開催した。附属高校のための大学の授業公開、入試広報センターによる大学紹介や学科ごとの出前講義により、生徒の盛岡大学への関心は高まっている。中学生への働きかけとして、高校のオープン

スクールの際に希望者を募り大学見学を取り入れた。

## エ 留学制度等特色ある教育活動について

- ① 留学制度を利用し、今年度1月から1年間の予定で、留学する生徒があった。
- ② 野球・柔道などの部活動の強化が図られ、野球は夏・春・夏と3季連続甲子園出場を果たし、夏はベスト16、春・夏はベスト8の結果を残した。柔道部は2名がインターハイに、1名が全国高校柔道選手権大会に出場し、陸上長距離では一関盛岡間駅伝競走で初めて6位入賞を果たした。
- ③ さんさ同好会が盛岡さんさ踊りに学校として初めて参加し、地域との連携を深めた。

## オ 施設設備の改善について

入学者増に伴い特進棟の教室の改築、トイレの増設工事を行った。また、特進棟の玄関及び柔道場の床の修理を行った。野球部のバスについては、老朽化に伴い安全面を考慮し更新した。

## (5) 盛岡大学附属厨川幼稚園

### ア 入園児の定員確保について

- ① 満3歳児の入園児が9人あり、年少クラス定員25人を充足した。
- ② イメージキャラクターの制作を依頼し完成した。これを園児募集要項、未就園児チラシ、ホームページ等に使用し、園児募集に活用することとした。
- ③ 折込チラシを作成し、園庭開放等広く周知した。

### イ 特別支援を要する子どもへの対応について

- ① 盛岡市ひまわり学園の未就園児より入園相談を受け、当該施設との申し送りを行い入園を受け入れた。
- ② 支援を要する子どもに対応する任期付講師を配置した。
- ③ 短期大学部と共同で特別支援教育研修会を開催した。

### ウ 教育内容の充実について

- ① 新教育要領について、短期大学部と連携し研修を行った。
- ② 教育課程の編纂を開始した。
- ③ 主幹教諭を教務主任にあてて役割を明確にした。

### エ 盛岡大学・同短期大学部との連携について

- ① 学園祭等において学生の学びの場として園行事への参加を定着させ、学生と教員とが一体となった活動を行った。
- ② 未就園児サークル保護者の子育て相談において、短期大学部教員の専門的な視点から子育て相談を実施した。

#### オ 園舎内外の環境整備について

- ① サブルームの床の張り替え及び床下配管の修繕を行った。
- ② 監事、管財課と連携して遊具等の安全点検を行った。

### (6) 盛岡大学附属松園幼稚園

#### ア 入園児の定員確保について

- ① 平成29年度の入園児は満3歳児6人を含めて12人であった。
- ② 「満三歳児ツアー」を実施し、満三歳児入園の良さを伝え入園の促進を図った。
- ③ 幼稚園行事に関心を持ってもらえるよう、はがきでの案内や未就園児サークルでの声掛けなど入園対象児の保護者に積極的に働きかけた。

#### イ 教育内容の充実について

- ① ラグビー教室やジョイキッズ（英語であそぼう）など、体を動かす楽しさ、外国の風習や言葉に触れる機会を設け保護者も参加しながら取り組んだ。
- ② ダンスや歌など異年齢でのかかわりができる活動を行い、相互の関係を深めた。

#### ウ 子育て支援事業を含めた保育内容の充実について

- ① 預かり保育は年間・月間の利用者が定着してきており、スポット利用者も増加している。
- ② 未就園児サークルを10回行い、年間を通して平均の参加人数は10名前後であった。参加した保護者の子育て相談にも応じ入園に結びつけることができた。

#### エ 盛岡大学・同短期大学部との連携について

- ① 学生の実習受け入れの他にも、日々の保育、行事への保育参加により盛岡大学、同短期大学部との連携を深めた。
- ② 盛岡大学短期大学部の教員を招いて子育て講演会を実施し、子育て相談も行った。

#### オ 園舎内外の環境整備について

- ① ホール床の張替えを行った。
- ② 老朽化した園児バスを更新した。
- ③ 後援会との園舎清掃や監事、管財課と連携して遊具等の安全点検を行った。

### 3 役員会等の開催状況

#### (1) 理事会

開催月日	議 事 内 容
4月18日 (1回目)	①理事及び評議員の辞任について②理事の選任について③監事候補者の選出について④評議員の選任について⑤評議員の推せんについて
4月18日 (2回目)	①評議員会の意見を参考に理事長が監事を選任したことについて
5月1日	①理事長の選任について②常務理事の選任について③理事長職務代理の順位について④学校法人盛岡大学役員・評議員報酬規程の一部改正について
5月25日 (1回目)	①平成28年度事業実績報告及び決算について
5月25日 (2回目)	①学校法人盛岡大学旅費規程の一部改正について
6月29日	①盛岡大学学則の一部改正について②平成30年度被災学生・生徒等の授業料等減免について③被災学生・生徒等を対象とする授業料等減免措置に伴う寄付金募集について
7月27日	①盛岡大学附属高等学校野球部の全国高等学校野球選手権大会(甲子園)出場に伴う寄付金募集について②資産の基準外運用の手続きについて③盛岡大学教育職員の採用について
9月28日	①盛岡大学文学部教育職員の採用について
10月26日 (1回目)	①学校法人盛岡大学中期(平成26～29年度)経営計画の総括について
10月26日 (2回目)	①盛岡大学文学部教育職員の採用について②本法人が所有する土地建物を学外に貸し出すことについて
11月30日	①学校法人盛岡大学第3次中期経営計画(平成30～平成33年度)の策定について②平成29年度予算の第1次補正について③盛岡大学附属高等学校学則の一部改正について
12月21日	①平成30年度学校法人盛岡大学事業計画及び予算編成の骨子について②学校法人盛岡大学資産運用基準及び基準外運用の手続き等に関する規程の一部改正について③盛岡大学文学部教育職員の採用について④盛岡大学短期大学部教育職員の教授昇格者の決定について
1月25日	①盛岡大学栄養科学部長の選任について②任期満了に伴う学校長の選任について③盛岡大学文学部教育職員の採用について④盛岡大学短期大学部教育職員の採用について⑤盛岡大学栄養科学部教育職員の任用期間の更新について
2月22日	①任期満了に伴う学校長の選任について②盛岡大学文学部教育職員の採用について③盛岡大学文学部教育職員の任用期間の変更について

3月22日 (1回目)	①評議員の選任について②評議員の推せんについて③平成29年度盛岡大学附属高等学校奨学金予算額の増額について
3月22日 (2回目)	①平成29年度予算の第2次補正について②平成30年度事業計画及び予算について③盛岡大学学則の一部改正について④鍋屋敷野球場南側私有地の賃貸借契約を締結することについて⑤盛岡大学文学部教育職員の採用について⑥盛岡大学文学部教育職員の教授昇格者の決定について⑦盛岡大学客員教授の委嘱について⑧学校法人盛岡大学非常勤講師定年規程の制定について⑨盛岡市と盛岡大学・盛岡大学短期大学部との包括的連携に関する協定の締結について

## (2) 評議員会

開催月日	議 事 内 容
4月18日	①評議員の選任について②理事の選任について③監事の選任にあたり評議員会の同意を求めることについて
5月25日	①平成28年度事業実績報告及び決算の報告について
6月29日	①盛岡大学学則の一部改正について②平成30年度被災学生・生徒等の授業料等減免について③被災学生・生徒等を対象とする授業料等減免措置に伴う寄付金募集について
7月27日	①盛岡大学附属高等学校野球部の全国高等学校野球選手権大会（甲子園）の出場に伴う寄付金募集について
10月26日	①理事の選任について②学校法人盛岡大学中期（平成26～29年度）経営計画の総括について
11月30日	①学校法人盛岡大学第3次中期経営計画（平成30年度～平成33年）の策定について②平成29年度予算の第1次補正について③盛岡大学附属高等学校学則の一部改正について
3月22日 (1回目)	①評議員の辞任について
3月22日 (2回目)	①評議員の選任について②平成29年度予算の第2次補正について③平成30年度事業計画及び予算について④盛岡大学学則の一部改正について⑤鍋屋敷野球場南側私有地の賃貸借契約を締結することについて⑥盛岡大学短期大学部名誉教授の称号を授与することについて⑦盛岡市と盛岡大学・盛岡大学短期大学部との包括的連携に関する協定の締結について

## (3) 常勤理事による案件審査会議

理事会議題及び同報告事項を纏め上げるための予備討議を行い、コンセンサスを図っている。今年度は23回開催した。

## 4 監査の実施状況

- (1) 平成29年度の監査報告書は下記のとおりである。
- (2) 監事2名のうち、1名は週4日出勤し常勤監査体制を高めている。
- (3) 例月の監査の実施状況は以下のとおりである。

ア 理事会及び評議員会には原則として毎回2名出席し業務の執行状況を監査している。また、案件審査会議についても後日、協議資料をもとに開催状況を監査している。

イ 財務状況に関する監査の充実という観点から、監査法人監査には常勤監事が立会いしている。

ウ 日常は、現預金・重要保管物等の実査及び公印管理状況をはじめ、各種コンプライアンスの遵守状況等について監査を実施し、業務の改善を促している。

エ 決算監査は関係法令、学校法人会計基準、寄附行為に基づいて行っている。

平成29年5月17日

学校法人盛岡大学  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人盛岡大学

監事 高橋捷友   
監事 阿部まさえ 

### 監査報告書

私たちは、学校法人盛岡大学の監事として、私立学校法第37条第3項及び学校法人盛岡大学寄附行為第15条第1項の規定に基づき、同第2項に定める職務を次により行いましたので、同第3項により本報告書を提出します。

#### 1 監査の方法及びその内容

法人の業務については、監事監査規程の基準に準拠し、理事、内部監査室、その他の職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況についての報告を聴取しました。また重要な決裁書類を閲覧し、業務の妥当性を検討しました。さらに学校法人から財務状況の報告及び説明を受け、計算書類及び財産の状況を監査したほか、公認会計士の会計監査の都度立会いし、その監査結果の報告を受け、計算書類の妥当性を検討しました。

#### 2 監査の結果

上記による監査の結果、本法人の平成29年3月31日現在の計算書類は、学校法人会計基準に準拠して経営状況及び財政状態を適正に表示していること並びに同日の財産の状況は、別添財産目録記載のとおり適正に表示していることを認めます。

また、本法人の業務または財産に関し、私立学校法第37条3項第4号に定める文部科学大臣または理事会及び評議員会に報告すべき不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

## 5 主な行事等

平成29年	4月3日	辞令交付式
	4月5日	盛岡大学及び盛岡大学短期大学部入学式
	4月8日	附属高等学校入学式
	4月8日	附属厨川幼稚園入園式
	4月8日	附属松園幼稚園入園式
	5月18日	大学・短期大学部火災避難訓練
	6月14日	新規採用事務職員研修①
	6月15日	創立記念日礼拝（66周年）（於細川泰子記念礼拝堂）
	7月～8月	新規採用事務職員研修②
	8月10日	上期職員研修会
	8月13日～16日	夏期休暇
	10月8日	第5回盛岡大学・盛岡大学短期大学部「ホームカミングデー」
	10月20日	大学・短期大学部地震避難訓練
	12月27日	下期職員研修会、SD研修会
	12月29日～1月3日	年末年始休暇
平成30年		
	3月1日	附属高等学校卒業式
	3月9日	新規採用事務職員研修③
	3月10日	附属厨川幼稚園修了式
	3月10日	附属松園幼稚園修了式
	3月13日	盛岡大学卒業式
	3月14日	盛岡大学短期大学部卒業式
	3月29日	退職辞令交付式